

徳島県立城ノ内中等教育学校生成AI活用ポリシー

学校で利用する生成AIについては、必ず徳島県教育委員会から配布されているGoogleアカウントからGeminiやNotebookLMを活用しましょう。

タブレットPCや生成AIはあくまでも学習の補助に使用するものです。

以下の10項目によく目を通し、適切な利用をしましょう。



1. 生成AIは道具であり、最終的な責任は使う人にある

- 生成AIは、みなさんの**学習をサポートするための道具**です。学習の主体者は生成AIではなく、「自分」であることを常に意識しましょう。
- 生成AIが提示した内容には誤った情報（ハルシネーション）が混じっている可能性があることを理解しましょう。提示された内容は必ず自分で判断しながら活用し、**最終的な責任は自分にある**ことを理解し、考えることを放棄しないようにしましょう。

2. 責任ある適切な使い方をする

- 宿題をするとき等に生成AIを補助的に使うのはよいですが、**丸写しやコピペはやめましょう。学習の目的は自分の力を高めること**です。
- 生成AIが作った文章や情報を参照するときは、**どこからの情報なのか**を考えたり、必要に応じて引用・参考文献として明記したりするようにしましょう。また、その情報が本当なのか確認する習慣をつけましょう（ファクトチェック）。社会に出ても必要な姿勢です。

3. すぐに頼らない

- わからないからといって**すぐに生成AIに頼らない**ようにしましょう。
- 自分で考えたり学習したりする機会を失うだけでなく、**答えをすぐに求めてしまうことが習慣**になってしまいます。
- まずはじっくりと自分で考え、**どこがわからないのかを明確にした上で相談**しましょう。自分がどこまでは分かっている、どこからがわからないのかという自己分析ができるようになりましょう。

4. 個人情報を入力しない

- 生成AIには、自分や他人の**個人情報**（名前、住所、電話番号、写真、パスワードなど）を入力しないでください。学校で使用しているGeminiは機械学習されないようになっていますが、個人情報の取り扱いには常に注意をしておきましょう。
- 一度ネット上に出した情報は、消したつもりでも完全に消えるとは限りません。**特に他人のプライバシーを侵す行為は絶対にやめましょう。**

5. 生成AIの情報を鵜呑みにしない

- 参考意見のひとつとしてとらえ、教科書や先生、信頼できるWebサイトなどと**照らし合わせて確認**しましょう。
- 「自分の目で確かめる」「ほかの人と意見を交換する」など、**Critical thinking（批判的思考）**を身につけることが大切です。

6. 著作権や知的財産権への配慮

- 生成AIを利用する際は、**著作権や知的財産権を侵害しない**ように注意しましょう。
- 無断でコピーしたり引用ルールを守らなかったりすると、法律上の問題にも発展する可能性があります。

7. 先生の方針の確認

- 担当の先生によって、生成AIの使用に関する**独自のルール**が定められている場合があります。
- 課題や発表に生成AIを使用する際は、必ず先生の指示に従いましょう。

8. 使いすぎに気をつける

- 生成AIは便利ですが、**何でも依存しすぎると自分で考える力が育ちません**。
- どこまでを自分で取り組み、どこからを生成AIに助けてもらうか、**バランスを考えて活用**しましょう。
- スマホやインターネット全般にも言えることですが、**時間を区切り、自己管理**をする意識を持ちましょう。

9. 情報リテラシー・AIリテラシーの向上

- インターネットやSNSには、多種多様な情報があふれています。生成AIだけでなく、**フェイクニュースや偏った意見**にも注意が必要です。
- 自分の頭でしっかりと考え、**必要に応じて複数の情報源を確認する**習慣を身につけましょう。
- 生成AIの得意・不得意を理解し、リスクを管理しながら安全かつ効果的に使いこなす能力を身につけましょう。

10. 問題を解決する力を身につける

- 生成AIは答えを提示してくれますが、その答えを**どのように活かすか**は自分次第です。生成AIは「答えを安易に与える」ツールではなく、「学びにヒントを与える」「学びを深化させる」ツールであることを理解し、活用しましょう。
- 答えをただ得るだけでなく、「どうしてそうなるのか」「どう応用できるのか」を考え、**主体的に学習を進める力**を養いましょう。学んだことを言語化し、人に説明できるようになりましょう。

以上のポリシーを守りながら、生成AIを**主体的で責任ある方法**で活用し、みなさんの学習をより深め、広げていきましょう。